

# 議員が思いつけなかった質問もあって有意義な会に

## 市議会主催の議会報告会・意見交換会



参加者との意見交換の様子。14日、橋爪撮影。

質問は議員が思いつけなかったものが多いが、有意義でした。質問には各常任委員会の担当者が丁寧に答えていました。会が終わった後、「土地開発公社の土地はどうか」など

市議会主催の議会報告会・意見交換会が14日から始まっています。15日は柿崎地区公民館が会場でした。私は写真係として参加しました。内山議長がパワーポイントを使って新年度一般会計予算の特徴や3月議会の概要を説明した後、4つの常任委員会の正副委員長が委員会審査の特徴などについて報告。その後、質疑や意見交換が行われました。

この日は、市民の参加者が7人と少なかったのですが、質疑や意見がたくさん出されました。主な発言は以下の通りです。「イルカを購入するというのが、繁殖はどうなっているのか、獣医はいるのか」「市は第三セクター（財政的な）支援しているが、ここまでいったら手をひく、そういう線を引きべきではないか」「風力発電、市がやるのはおかしい。市が手を出すのはナンセンスだ」「中小企業振興条例制定に基づき、何か予算がついたのか」「新体操アリーナは、優秀な選手を育てる施設と云っていいのか。大きい大会をやる施設か」「中心市街地活性化計画は周辺部を衰退させかねない。市街地への支援は否定しないが、周辺部への支援、そこらへんどのバランスについては、どう議論しているか」

私に聞いてくる人がいました。この日は午後7時から始まり8時40分過ぎまであったのですが、参加者のみなさんは、まだまだしゃべりたかったようです。

### 24日に

### 臨時議会

市議会議員の任期は4年です。この5月がちょうど折り返しとなります。これに伴い、議会の人事を決める臨時議会が24日午前10時から開かれることが決まりました。

この日は議長、副議長が辞表を提出する予定で、提出されれば新たな議長・副議長を選出することになります。また、各議員の常任委員会、特別委員会の所属や正副委員長の選出も行われる予定となっています。臨時議会の結果は活動レポートの6月3日号でお知らせします。



「公文書改ざん・いんぺい・セクハラ・憲法壊しの安倍政権にノーの審判を下しましょう」「県民のいのちと暮らしを守る県政の発展を」と訴えるひららぎ哲也市議と橋本正幸市議。13日、直江津の三ハ市で。



【ギンラン】ラン科の多年草。漢字で「銀蘭」と書きます。花期は5～6月、白い花を咲かせます。キンランとほぼ同じ時期に咲くことから、キンさん、ギンさんと呼ぶ人も。写真は9日、吉川区にて撮影しました。



上の写真、何だと思いませんか。動物ではありません。植物です。今年の5月は真夏日が続くなど異常気象ですね。水分をしっかりととり、熱中症を予防しましょう。

# はしづめ法一の活動レポート

No.1858 2018.5.20

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

## 第五〇六回 母へのメッセージ

母にプレゼントを買わなきゃ、と思ったのは日曜日の夕方でした。毎年のように花ばかり贈っていたので、今年はスイーツをと決めていました。

買ったのは三二〇円のもの二百円ほどのスイーツ二個。どちらも見ただけで甘くておいしいことわかるスイーツでした。車の助手席に置いて、家に着くまでに形が崩れないようにと気を遣いました。

居間で電動イスに座っていた母は、私がスイーツをコタツの上のテーブルに出すと、「まあ、うんまそうだな」と言って喜びました。

母がそう言ったのを耳にしてすぐに、家族の一人が、「ツトムおじさんも、去年と同じくゼリーをばあちゃんにつけて、送ってくれたんだよ」と言いました。座敷の隅には果物のミックスゼリーが何とふた箱もありました。

三時間ほど事務所で仕事をしてから家に戻り、コタツのいつもの席に座ったとき、ふたたび驚きました。お菓子入れの中に、大きな袋入りの見たことのない食べ物があったからです。よく見ると、このお菓子は善光寺平特産の杏(あんず)で作った「ゆきげ杏」というものでした。こちらは、隣の大湊区に住んでいる、もう一人の弟からの贈り物だったのです。

こうして三人の子どもから母に贈られたプレゼントは、中身こそ違ったものの、すべてお菓子類となりました。偶然とはいえ、同じことをそれぞれが考えていたかと思ふと、おかしくなりしました。いくら甘いものが好きだとはいえ、母はこれだけのものは食べられないでしょう。

三人のうち一番遠くにいるのは、私のすぐ下の弟、ツトムです。愛知県に住んでいます。この弟が、大量のミックスゼリーが

入った箱にメッセージを添えていました。縦横それぞれ二〇センチほどの大きさの白い紙です。

白い紙には、「母ちゃん 母の日おめでとう！ いつまでも元気でいてネ！ ※近日帰ります。ツトムより」と書いてありました。字を見て気づいたのですが、この弟の文字は九年前に他界した父の文字に似ていました。

このメッセージを見たとき、母に弟の声を聞かせてやろうと思いました。「ばちや、ツトムと話し、しんかね」と尋ねると、「うん」と言います。私はスマホを操作し、呼び出し音がしている時に、母の耳元にスマホを持っていきましました。

母の耳元では、「もしもし……」という弟の声だし、私のところにも聞こえてきました。

ツトムかあ。きょうはもうしゃげねかたねー。うんめかたよ。ありがとねー。イサムも取りに来たよ。

母は一気にしゃべりました。これに応えて弟が「近いうちに帰るすけね」とでも言ったのでしよう。母は、「うん、道中、気つけて来てくんない。待つてるすけね」と言いました。

母と弟が言葉を交わしたのは一分足らず、でも、言葉を交わしている母の表情はとてもうれしそうでした。電動イスに座り、斜め上の天井を見つめながら、はるか遠いところにいる人に呼びかけるような調子で、声をかけていました。また、弟からの言葉は、ひと言ひと言、かみしめるように聞いていました。

弟のメッセージで思いついた母と弟との電話。遠くを見つめる姿勢でうれしそうな表情を浮かべる母を見て、親子四人がそろそろ日を早く実現させたいと思いました。

## 「春よ来い」500回到達を祝う会に80人



### 上越地域各消防署における 空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	5月9日(水)	5月16日(水)
上越南消防署	0.050	0.043
上越北消防署	0.053	0.050
新井消防署	0.050	0.040
頸北消防署	0.053	0.040
頸南消防署	0.050	0.060
東頸消防署	0.040	0.043
高士分遣所	0.050	0.047
名立分遣所	0.057	0.047

「春よ来い500回到達を祝う会」が先月28日、吉川多目的集会場において行われました。連休中にもかかわらず、参加者は80人を超えました。ご参加くださいましたみなさん、ありがとうございました。

会では、オープニングで小田順子さんが「春よ来い」の第468回、「いよいよいよいよあ」を朗読してくださいました。ちょうど、母が「いよいよいよいよあ」をしている写真がありましたので、それを映し出しながらの朗読、いいもんですね。

その後、私が20分ほど「春よ来い」の執筆エピソードを語りました。スマホに毎日メモをとっている

こと、水曜日の夜に集中して書いていること、父が亡くなった日も書くことが出来たこと、日常生活での小さな幸せ、小さな発見をさがすように努めていること、「春よ来い」に書いたことが思わぬ波紋を呼び、新たなつながりも出来ていること、何よりも読者の皆さんからの励まし、感想が継続の力になっていることを明らかにしました。

続いて、学校時代からお世話になっているUさん、大湊に住む弟から、「春よ来い」にかかわる話をしてもらいました。

Uさんは、「96歳の母が一番に読み、次に私が読んでいます。毎週、レポートが届くのが楽しみだ」とのべるとともに、わが家の父の子育てのことや私との出会いなどについても語っていただきました。

弟は、「春よ来い」の材料にという思いで、写真や懐かしいものなどを私に提供してきたことなどを語ってくれました。

